



Title	太宰治スタディーズ 第1号 目次
Author(s)	
Citation	太宰治スタディーズ. 2006, 1
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/97251">https://hdl.handle.net/11094/97251</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 太宰治スタディーズ

第1号

2006.06

総特集II 『斜陽』

イントロダクション——いま、なぜ、太宰治『斜陽』なのか 松本和也

4

## 太宰治『斜陽』研究史

7

一四〇年代

岡村知子／一九五〇年代

井原あや／一九六〇年代

松田忍

一九七〇年代

永吉寿子／一九八〇年代

小澤純／一九九〇年代

吉岡真緒

## 論文——特集『斜陽』を読む

物語／「私」

大國眞希

虹と水平線

斎藤理生

太陽と言葉——『斜陽』試論

萬所志保

太宰治『斜陽』についての一考察——「真／偽」を超えて

吉岡真緒

太宰治「斜陽」論——物語の転換と余白

60 45 32 20

「太田静子」／「斜陽日記」

井原あや  
小澤 純  
『斜陽』のざわめく周縁―太田静子へのイメージ化―  
『傾斜』する記憶―『斜陽日記』／『斜陽』試論

89 73

時代／イデオロギー

青木京子  
岡村知子  
滝口明祥  
『斜陽』と「道徳革命」―「教育勅語」・「家族制度」をめぐる  
太宰治「斜陽」論―問題系としての戦後ロマン主義―  
かず子の「革命」、サチ子の「退屈」

141 125 106

永吉寿子  
松本和也  
―太宰治「斜陽」と坂口安吾「青鬼の禪を洗う女」  
「斜陽」における「破壊」と「犠牲」―太宰治の倫理性  
明滅する「自由」―太宰治「斜陽」を解読する

177 159

著者紹介  
奥付&編集後記

「太宰治スタディーズ」の会